

◇凡例

- 本書は、それぞれの話・作品について、あらすじ・解説・現代語訳・原文（返り点つき）・書き下し文・語注・余説等により構成し、比較的長いものについては、まとまりのあるところで区切りをつけて示した。
- (1) あらすじ 小品の短篇作品を除き、作品全体の内容がすぐにつかめるように、冒頭にあらすじを付した。
 - (2) 解説 作品の解題、作者、テキスト、あるいは日本に対する影響など、作品理解の上で必要な事柄についてまとめた。
 - (3) 現代語訳 できるだけ平易な現代日本語に訳すことを心がけた。小説であるので、多少「意識」に傾いても、通りの良い日本語に訳した部分もある。この点については、原文・書き下し文を参照していただきたい。
 - (4) 用字 ごく特殊な場合を除いて、現代語訳・原文・書き下し文においては常用漢字体を用いた。
 - (5) ルビ ルビは、現代語訳・書き下し文共に現代仮名遣いによった。
 - (6) 書き下し文 送り仮名は、歴史的仮名遣いによった。
 - (7) 語注 固有名詞・難解語等、原文の理解に必要と思われる語句について施した。
 - (8) 余説 本文の解釈に直接の関係はないが、作品の理解や、後世、または日本文学への影響等について、特に紹介しておきたいことがある場合に設けてある。

編 者

目 次

序 言	1
明代中国参考地図	xvii
笑 林	1
啓 顔 録	47
論 難	47
弁 捷 (弁才)	56
昏 忘 (もの忘れ)	63
嘲 誚 (嘲弄)	68
東 坡 居 士 艾 子 雜 説	75

新編酔翁談録・嘲戯雑語

- ① 嘲人好色 (人の好色を嘲る) 109
- ② 杜正倫譏任環怕妻 (杜正倫任環の妻を怕るるを識る) 112

- ③ 嘲人不識羞 (人の羞を識らざるを嘲る) 114
- ④ 婦人嫉妬 (婦人の嫉妬) 116
- ⑤ 錯認古人詩句 (錯りて古人の詩句を認む) 119

権子

- ① 良知 122
- ② 説謊 (うそ) 124
- ③ 家語 (お里の言葉) 127

- ④ 自貞 (自ら貞とする) 130
- ⑤ 常不輕 133
- ⑥ 乱撞鐘 (でたらめに鐘を撞く) 135

雪霽諧史

139

笑賛

- 笑賛題詞 172
- ① 太行山 173

- ② 歐陽修 175
- ③ 屁頰 (屁の頰) 178

- ④ 仙女 180
- ⑤ 和尚 (僧) 181
- ⑥ 僧窃布 (僧布を窃む) 183
- ⑦ 端公 (神おろし) 185

- ⑧ 卜者子 (易者の子) 188
- ⑨ 好酒 (酒を好む) 190
- ⑩ 李靚 192

三台万用正宗・笑諺門

- ① 嘲夫婦 (夫婦を嘲る) 198
- ② 嘲妻妾 (妻妾を嘲る) 200
- ③ 嘲姦淫 (姦淫を嘲る) 202
- ④ 嘲教師 (教師を嘲る) 203

- ⑤ 嘲九流 (さまざまな職の人を嘲る) 204
- 庸医 (やぶ医者) 206
- ⑥ 嘲卜筮 (占い師を嘲る) 206

笑府

- 笑府序 212

卷一 古艶部 (富貴について)

- 古艶部題辭 215
- ① 江心賦 (江心の賦) 218

- ② 清福 219
- ③ 訓子 (息子を教育する) 221
- ④ 考 (試験) 222
- ⑤ 王監生 223

⑥ 官府生日 (役人の誕生日) 226

⑦ 土地 (土地神) 227

⑧ 避暑 229

⑨ 天气不正 (天候不順) 230

⑩ 堵子 (的) 231

⑪ 太監 232

卷二 腐流部 (えせ学者)

腐流部題辞 233

① 老童生 (年老いた童生) 235

② 老童生 (年老いた童生) ・その二 236

③ 儒学碑 (儒学の碑) 237

④ 産諭 (お産の諭え) 239

⑤ 求籤 (おみくじ) 240

⑥ 窮秀才 (貧乏秀才) 242

⑦ 名読書 (有名な勉強家たち) 243

⑧ 謁孔廟 (孔子廟詣で) 244

⑨ 昼寐 (昼寝) 246

⑩ 昼寐 (昼寝) ・その二 247

⑪ 読別字 (難読) 248

⑫ 講書 (経書の講読) 250

⑬ 余姚先生 (余姚の先生) 251

⑭ 道学相罵 (道学の罵り合い) 253

⑮ 問孔子 (孔子にたずねる) 255

卷三 世諱部 (貧賤について)

世諱部題辞 256

① 遇儉 (どろぼうに出会う) 258

② 遇儉 (どろぼうに出会う) ・その二 260

③ 被 (かけぶとん) 261

④ 借債 (借金) 262

⑤ 説夢 (夢を語る) 263

⑥ 小欠 (わずかな借金) 264

⑦ 売草紙 (落とし紙を売る) 265

⑧ 丈夫 (夫の夫) 267

⑨ 竜陽新婚 (陰間の新婚) 268

⑩ 竜陽新婚 (陰間の新婚) ・その二 268

⑪ 夢 269

⑫ 書手吟詩 (胥吏が詠じた詩) 270

卷四 方術部 (医者と易者)

方術部題辞 274

① 学游水 (泳ぎを学ぶ) 275

② 冥王訪名医 (冥王が名医を訪ねる) 276

③ 自飲 (自分で飲む) 277

④ 送薬 (薬をとどける) 278

⑤ 跳虱薬 (のみの薬) 279

⑥ 疥薬 (疥癬の妙薬) 280

⑦ 方相 (方相氏) 281

⑧ 子中状元 (息子の状元及第) 282

⑨ 箭 (矢) 283

⑩ 星相 (星占い師と人相見) 284

⑪ 相相 (人相見の人相を見る) 284

⑫ 三阿弟 (三弟) 285

⑬ 風水 287

⑭ 巫 (巫術師) 289

卷五 広萃部 (僧侶・道士・職人)

広萃部題辞 290

① 和尚宿娼 (娼家に泊まった僧侶) 292

② 春方 (娼薬の処方) 293

③ 蝦 294

④ 鄂都 (地獄) 294

⑤ 僧趣船 (僧が船に乗る) 295

⑥ 念仏尼 (念仏する尼) 297

⑦ 赤鼻頭師父 (赤鼻のお師匠) 299

⑧ 鬼迷 (幽霊にとりつかれる) 300

⑨ 厨子 (料理人) 301

⑩ 待詔剃頭 (床屋が髪を剃る) 302

⑪ 取耳 (耳そうじ) 302

⑫ 酒店 (料理屋) 303

⑬ 漁婦 (漁師の妻) 304

⑭ 媒人 (仲人) 305

⑮ 老翁 306

卷六 殊粟部 (奇癖)

殊粟部題辭……………306

①性剛 (強情)……………308

②性急 (せっかち)……………309

③性緩 (のろま)……………310

④性懶 (ものぐさ)……………312

⑤好静 (閑静を好む)……………313

⑥好飲 (酒好き)……………315

⑦問令尊 (お父上はとたずねる)……………315

⑧看戲 (芝居を見る)……………317

⑨看戲 (芝居を見る)・その二……………319

⑩看戲 (芝居を見る)・その三……………321

⑪認鞋 (鞋を見分ける)……………322

⑫好内 (房事を好む)……………324

卷七 細娛部 (道楽)

細娛部題辭……………325

①鬪 (女郎買い)……………326

②敗子 (道楽息子)……………327

⑪正夫綱 (夫としてのすじを正す)……………347

卷九 閨風部 (男女)

閨風部題辭……………348

①問嫂 (嫂にたずねる)……………349

②揺船 (船をこく)……………351

③搶婚 (掠奪結婚)……………352

④用枕 (枕の使い方)……………353

⑤双斧劈柴 (二本の斧で薪を割る)……………354

⑥焼香 (お寺参り)……………355

⑦官話……………356

⑧屁婢 (おならをする下女)……………357

卷十 形体部 (身体)

形体部題辭……………358

①長面 (馬づら)……………360

②老面皮 (厚い面の皮)……………361

③近視……………362

④胡子答嘲 (ひげ男が嘲りに答える)……………363

⑤懸疣 (こぶ)……………365

③教棋 (将棋を教える)……………328

④九件事 (九件の事)……………329

⑤除夜……………331

⑥失火 (火事)……………333

⑦唱曲 (歌詞)……………334

⑧劣簫管 (下手な簫管)……………335

卷八 刺俗部 (俗物)

刺俗部題辭……………336

①射虎 (虎を射る)……………337

②溺水 (水に溺れる)……………338

③名好客 (名だたる主人)……………339

④蘸酒 (酒にひたす)……………340

⑤行楽図 (肖像画)……………340

⑥討便宜 (うまい汁)……………342

⑦新絹裙 (新しい絹のはかま)……………343

⑧題柩 (柩に題す)……………344

⑨十弟兄 (十人の義兄弟)……………344

⑩避打 (ぶたれるのを避ける)……………346

⑥醜 (醜い)……………366

⑦大脚 (大きな脚)……………368

⑧鑿頭 (頭をなぐる)……………369

卷十一 謬誤部 (間違い)

謬誤部題辭……………370

①毬踢 (羽根蹴り)……………372

②行令 (酒令)……………373

③行令 (酒令)・その二……………374

④拜帖 (名刺)……………375

⑤看鏡 (鏡を見る)……………375

⑥頭巾……………377

⑦米……………379

⑧進士第 (進士の第)……………380

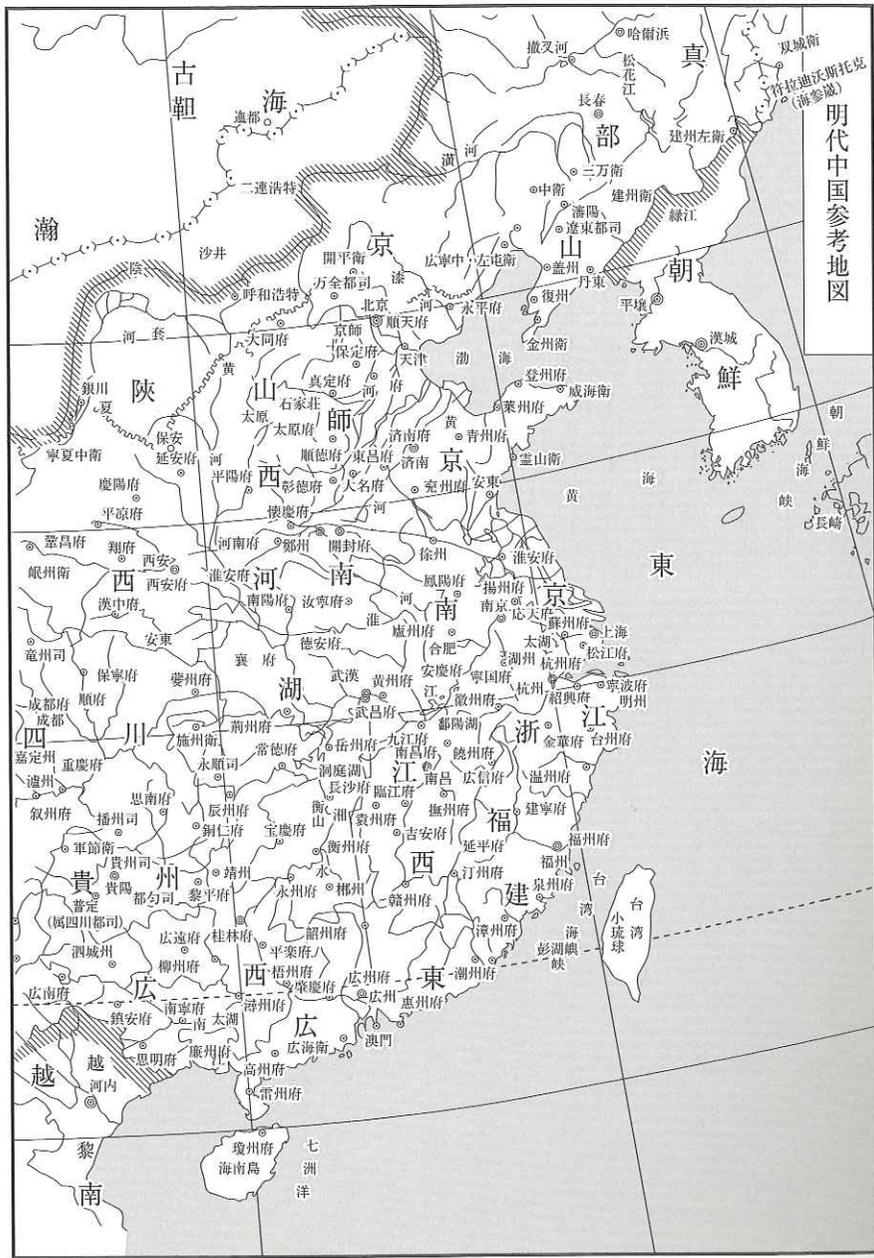
⑨梅花……………380

⑩不識貨 (物を知らない)……………381

卷十二 日用部 (衣食)

日用部題辭……………383

①破網巾 (ぼろぼろの網巾)……………383



明代中国参考地図

② 管衣服 (衣服の面倒をみる) 384

③ 襪 (靴下) 386

④ 属犬 (戌年) 386

⑤ 索燭 (蠟燭を求め) 387

⑥ 豆腐 388

⑦ 饅頭 389

⑧ 熟豆 (煮豆) 391

⑨ 遠近 392

⑩ 河豚 (ふぐ) 393

卷十三 閩語部 (その他)

閩語部題辭 394

① 千里馬 (千里の馬) 395

② 公治長 397

③ 蘇字 (蘇という字) 399

④ 口脚争 (口と足の争い) 400

⑤ 魔王反 (魔王の反乱) 401

⑥ 煙雨楼 403

⑦ 換馬 (馬を交換する) 405